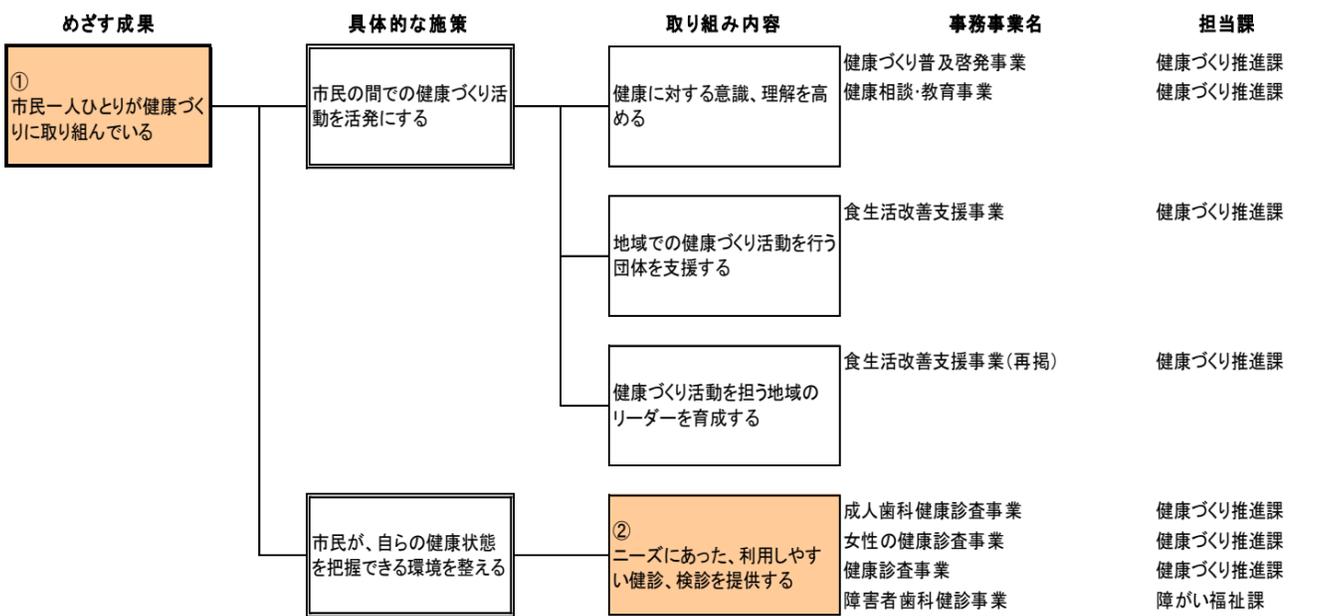


「めざす成果」中間目標までの評価 ～施策評価～

1-1-1 市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいる		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち
	個別目標	心身の健康を維持・増進する
	めざす成果	市民一人ひとりが健康診断や各種検診を受診することにより、自らの健康状態を把握し、健康管理に努めています。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



* (再掲)・・・複数の「取り組み内容」に係る事務事業について表示しています。

成果を計る指標	指標の名称	計画策定時 (H20)	実績値 (H21)	実績値 (H22)	実績値 (H23)	中間目標値 (H23)	最終目標値 (H25)
	① 自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合	60.20%			63.10%	69.00%	75.00%
	② 肺がん検診受診率	4.70%	15.00%	15.70%	15.00%	20.00%	27.50%

◎主管部：	・関係部：	・関係部：
-------	-------	-------

これまでの主な取り組み内容	《前期基本計画期間のうち平成21～23年度までの実績と成果》
	<p>【市民の間での健康づくり活動を活発にする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で健康づくりのリーダーとして活動する健康普及員の支援を通して、ウォーキングや体操教室、食生活教室、こころの健康講座など、地域の特長を生かした健康普及活動を実施しました。平成22年度に実施した各種教室、講座などの参加者数は、新型インフルエンザの影響で実施回数が減少した前年度を上回り、合計3,337人（前年度2,936人）となりました。 ・地域での食生活改善活動の担い手を養成するために、食生活改善推進員養成講座を実施するとともに、同推進員の主催による生活習慣病予防教室や調理実習を開催し、地域における食を通じた健康づくりを推進しました。 ・24時間365日、電話で相談することが出来る「やまと24時間健康相談」事業を開始したことにより、心身の健康に関する様々な相談が毎月2,000件程度寄せられるなど、市民に対して安心・安全を提供することが出来ました。 <p>【市民が、自らの健康状態を把握できる環境を整える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度から乳がんマンモグラフィ検診を隔年受診から毎年受診へ変更し、受診機会の拡大を図りました。

(単位：千円)

事務事業名	H23決算額	H24予算額	法令等の義務付け	財源構成	実施手法	今後の方向性
	合計	392,805	462,967			
事務事業の目的						
健康づくり普及啓発事業	2,006	1,930	無	一財	直営委託	現状継続
地域で健康づくりのリーダーとして活動する健康普及員を支援し健康・体力づくりを推進します。						
健康相談・教育事業	21,593	22,697	一部有	県補助	直営委託	見直し継続
健康増進法に基づき、健康診査後の事後指導及び生活習慣病予防のための保健師や栄養士等による相談・教育・訪問指導を保健福祉センター等で実施します。						
食生活改善支援事業	309	330	無	一財	直営	現状継続
食生活改善の正しい知識と調理技術を普及させ、生活習慣病の予防に努めます。また、食生活改善推進員の要請を行い、地域の健康づくりを推進します。						
成人歯科健康診査事業	1,848	2,075	一部有	県補助	直営委託	見直し継続
80歳で自分の歯を20本確保する8020運動の推進に基づく歯科検診を実施します。						
女性の健康診査事業	3,691	3,691	無	一財	直営委託	現状継続
女性の健康づくりと女性特有の疾患の早期発見のため、健康診査、保健・栄養指導を行います。						
健康診査事業	363,358	432,244	一部有	国補助 県補助	直営委託	見直し継続
特定健康診査や各種がん検診を実施し、生活習慣病やがんの早期発見・早期治療に努めます。						

[注釈] <財源構成> 一財:一般財源 国補助:国庫補助金等 県補助:県費補助金等
 <実施手法> 直営、委託、指定管理から選択。同一事業内で実施手法が混在するケース有り
 <今後の方向性> 事務事業評価の結果を踏まえた方向性

めざす成果の達成度	B	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康づくり活動が活発になるために、これまで取り組んできた市民への意識啓発事業や、各種団体等への支援策が定着し、健康づくりに対する雰囲気地域全体に広がっていくことに繋がっているものと考えられます。 ・健康診査、がん検診については、この数年間において、確実に受診率が向上しており、市民ニーズにあった検診体制の提供ができているものと考えられます。その重要性を理解してもらうことや、受診しやすい環境づくりが必要であり、特に子育て世代の女性について対策を講じる必要があります。
	[凡例] A:目標を上回って達成 B:概ね目標どおり達成 C:目標をやや下回った D:目標を大きく下回った	